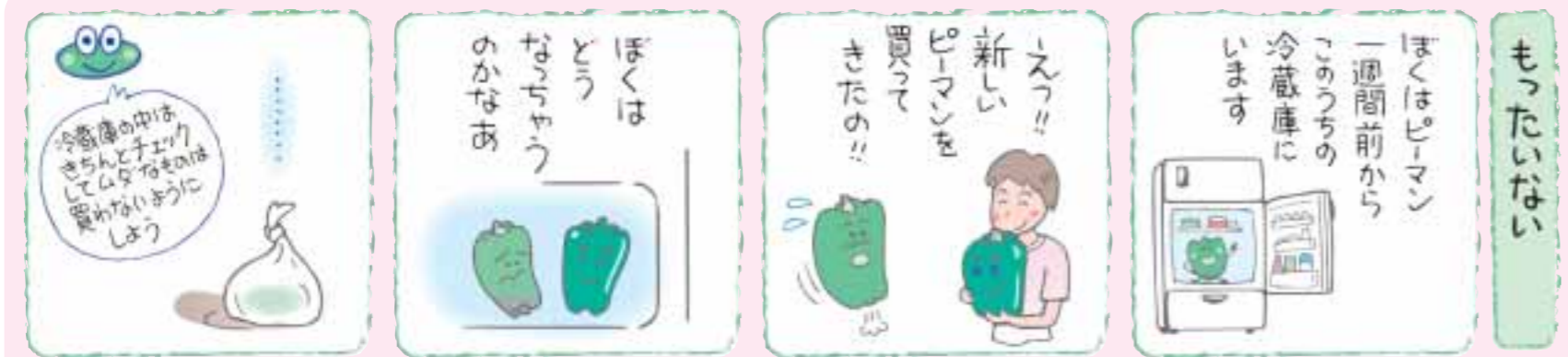


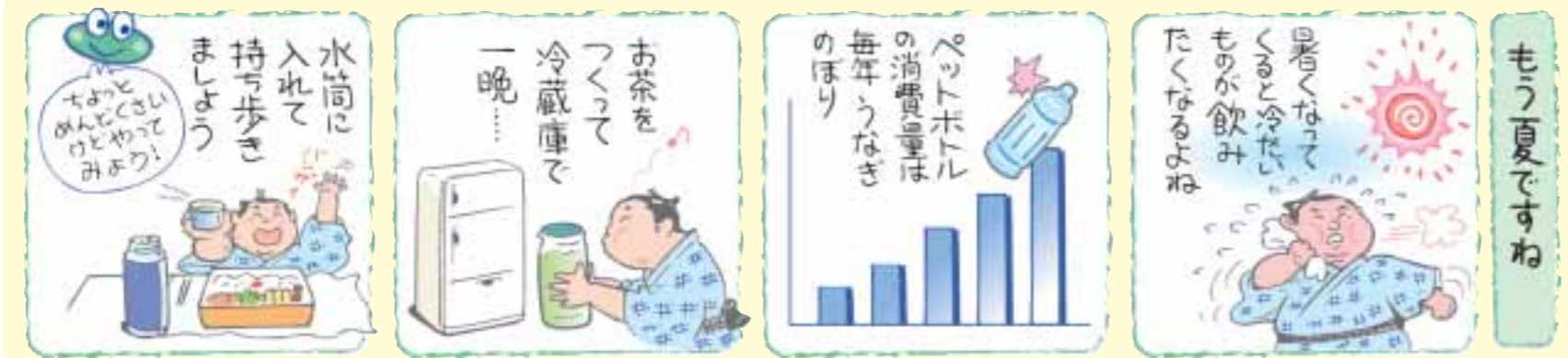


今ある埋め立て地(二ツ塚廃棄物広域処分場)を使いきってしまうと、多摩地区にはもう埋め立てられるところがありません。そうすると、皆さんが出すごみを集められずに、わたしたちの町がごみであふれてしまうかも…。わたしたちは、少しでもごみを減らす努力をしていかなければなりません。(平成10年の開設から15年12月までで、全体の3分の1の埋め立てを終了しました)



せっかくおいしく食べてもらえるように育った食べ物も、冷蔵庫にほったらかしてはかわいそう。買って来た食べ物は、ちゃんと食べきってあげましょう。

平成15年度 農林水産省「食品ロス統計調査」では、家庭の食べ物のうち食べられる部分の約5%が、傷んだりして捨てられてしまいます。特に野菜や果物がこうして捨てられる傾向にあります。



ふだん何気なく使い捨てにしているペットボトルも、小平市全体からは山のように集まってきます。使い捨てをやめて物を大事にすること、ごみや資源物を減らすことは皆さんのアイデア次第です。

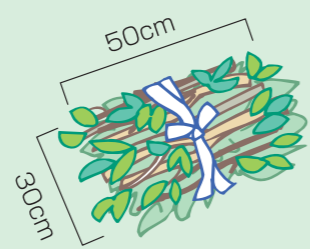


切り落とした枝木もりっぱな有機資源。市では枝木を細かく砕いて市内の果樹園や公園にまいています。こうしてまかれたチップにはミミズがいっぱい。よい土になっています。

**切り枝(せんでい枝)の出し方**

家庭で枝おろした木の枝は、「燃えるごみ」の日に、他の生ごみなどとは別に回収しています。5束までは無料で回収しますので、右図のように束ねて集積所に出してください。

※長い枝木や、直径10cmを超える枝木、6束以上の場合、粗大ごみになります。小平市粗大ごみ受付センターへ申し込んでください。  
※太さによっては、処理できない場合があります。  
※業者にせんでいを依頼した場合は、業者に引き取りをお願いしてください。



# 3R

Reduce Reuse Recycle

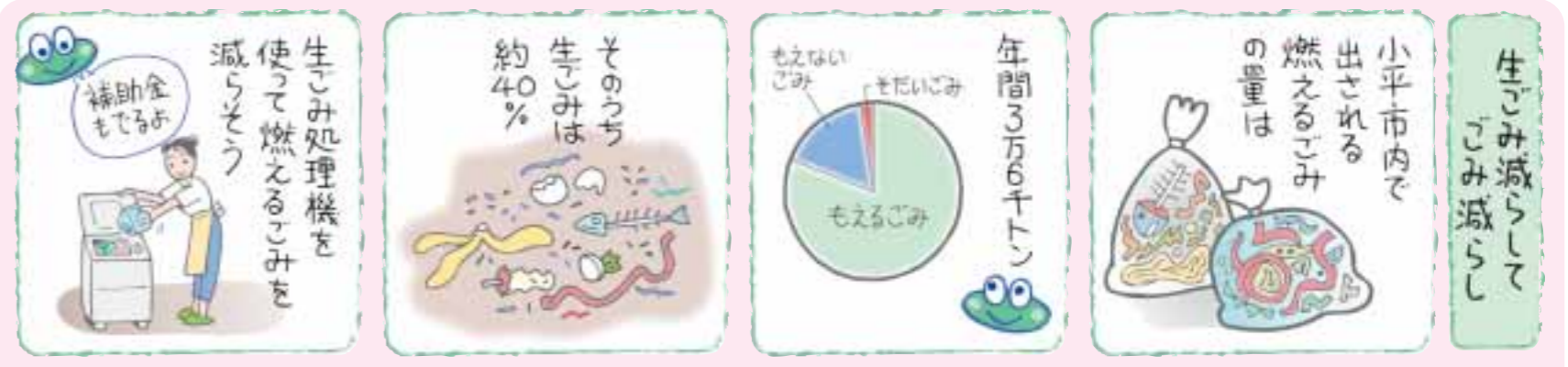
**リデュース (Reduce)**  
⇒すぐにいらなくなる物はなるべく買わない、もらわない  
**リユース (Reuse)**  
⇒使える物は繰り返し使う  
**リサイクル (Recycle)**  
⇒資源として再生するために、きちんと分別する

**資源(紙類)に混ぜてはいけないもの**

ティッシュ箱の口についているビニール、ダイレクトメールの窓枠(ゼロハン)などは必ず取り除いて「燃えるごみ」に出してください。  
※その他、写真、汚れている紙(ちり紙など)、ビニールコーティング紙、アルミコーティング紙などは燃えるごみです。



皆さんが出すごみや資源物は、地球資源を使って、みんなが一生懸命働いて作られた物ばかり。これを捨てるということは、こうして注ぎ込まれたものをすべて捨てるということ…。



ごみの中でいちばん多いのは生ごみ。まずは「水切り」から。さらに生ごみ処理機を使えば、ごみの量を大幅に減らすことができます。

**生ごみ処理機の購入費を補助しています**

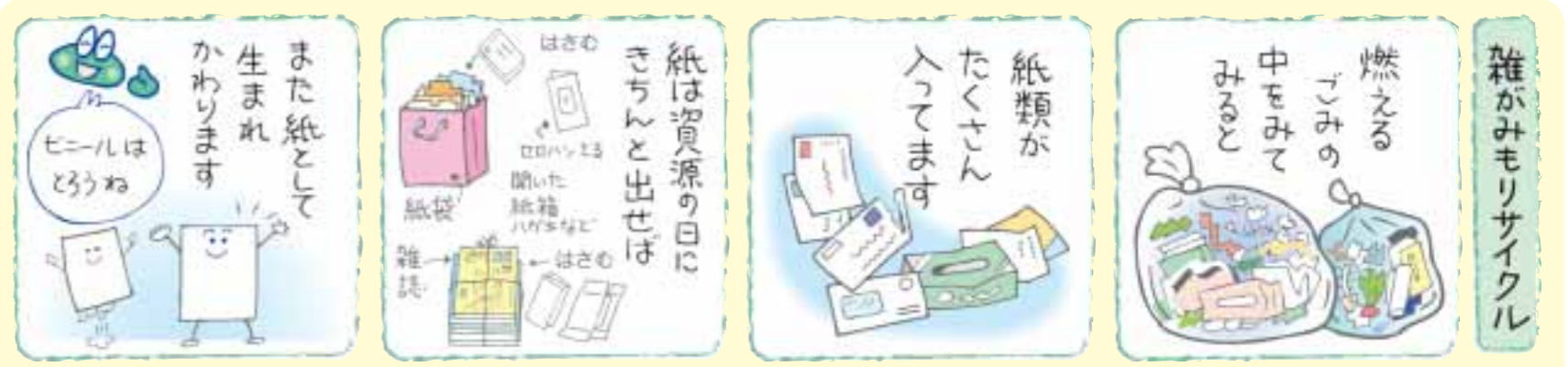
市では、生ごみ処理機を購入された市民の方に費用の一部を補助しています。詳しくはリサイクル推進課へお問い合わせください。



出す人にとっては要らない「粗大ごみ」も、欲しい人にとっては宝です。大切に使用してきた物に、新しい持ち主を探してあげましょう。団地やマンション、自治会で交換会をしたり、家の前でガレージセールをしてみませんか。  
※平成15年度 粗大ごみ受付件数31,569件 処理量751トン



食べ終わったら、つついそのまま袋に入れて捨てたくなりますが、ごちゃまぜは厳禁。汚れた物はすすいできちんと分別しましょう。生ごみ、おにぎりの包み、ラップなどは燃えるごみです。資源物(ビン、カン、ペットボトル、プラスチック容器)は別々の袋に入れて出してください。牛乳(紙)パックは、小売店などの回収ボックスへ。



新聞紙や段ボール、雑誌は資源として分別していても、その他の紙類は燃えるごみといっしょにしてしまいがち。トイレトーパーの芯や、お菓子やティッシュの箱、ダイレクトメールなど、名刺より大きい物は、異物を取り除いて資源に出しましょう。